



EDUCATION

「切磋琢磨」 野尻中学校生徒会

◆ ボランティア
本年度は、さらに工夫と努力を重ね全国1位を目指して体力向上に励んでいます。

◆ 自力登校
自分を律することを旨とする、忍耐力や継続する力を養うために生徒会が中心となり自力登校100%を推進しています。

◆ 体力向上
「切磋琢磨」の基礎・基本となる心の体力、行動体力の向上に取り組んでいます。特に、平成25年度は新体力テストに対する生徒主体の取り組みが認められ、宮崎県体力向上優良校、全国毎日カップ努力賞を受賞することができました。

◆ 笑顔で元気なあいさつ、無言でときばき清掃、ペットボトルキャップ回収、書き損じ葉書集めなど、日常的に継続して実践できる身近なボランティア活動を通して、周りに思いやりや元気、勇気を与える活動を実践中です。生徒一人一人が当たり前（凡事徹底）のように、取り組んでいきます。



3校リーダー研修の様子



生徒総会の様子

7月に野尻小・栗須小のリーダーと3校合同でのサミットを計画中です。野尻校区ならではの特色ある取組を行うために、義務教育9年間で何をすべきかを考えていきます。自分を愛し、友だちを愛し、学校を愛し、地域を愛する私たちが今できることを真剣に実践していきます。



SPORTS

第26回薫風杯剣道大会



▲薫風杯での熱戦の様子

第26回薫風杯剣道大会が須木地区体育館で開催されました。県内外から39団体103チームが参加し、市内からは7団体11チームが参加。熱戦の結果三松小が小学5・6年生男子の部でベスト8となりました。

【以下結果】

- ◆小学1・2年生の部
 - ・三松小（予選…1勝1敗）
- ◆小学3・4年生の部
 - ・鳥田町剣道（予選…2敗）
 - ・三松小（予選…2敗）
- ◆小学5・6年生男子の部
 - ・三松小（予選…2勝、決勝トーナメント…ベスト8）
- ◆誠心館（予選…2敗）
- ◆小学5・6年生女子の部
 - ・東心館（予選…2敗1分）



▲三松小スポーツ少年団の練習の様子

市内では、三松小剣道スポーツ少年団、東心館、鳥田町剣道、誠心館、西小林、学童会館の6つの道場があります。

剣道を通して心と体を鍛えてみませんか。あいさつや返事などの礼儀作法も身に付きます。詳しくは、保健体育課（Tel 22・7911）まで問い合わせください。

剣道をする と 礼儀作法が身に付きます

- ◆中学生男子の部
 - ・三松・西小林中（予選…1勝1敗）
- ◆中学生女子の部
 - ・東方中（予選…1勝1敗）



小林の郷土芸能②～剣舞一の谷・新地馬場棒踊り～

Vol.56



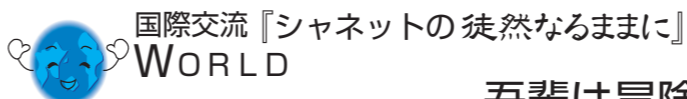
剣舞一の谷

浦平合戦の一場面、須磨の源氏が源氏の武者・平敦盛を討ち取る場面を剣舞として語り継がれてきたものと言われています。踊りは熊谷次郎直実役と平敦盛役に分かれ、鉢巻、タスキ、手甲、袴、足袋、わらじの姿で大刀、扇子を持って太鼓や拍子木に合わせて歌にのって踊る剣舞です。昭和初期に米良から田代八重の人たちに伝えられて祭りなどで披露されていましたが、田代八重小学校の廃校を機に須木の麓地区に移住した住民の方々の手で傳承され、現在にいたっています。



新地馬場棒踊り

古くは慶長年間、豊臣秀吉が朝鮮半島に出兵した際に薩摩藩も参加したが、秀吉が急死したため全軍が引き揚げました。薩摩藩の島津義弘が帰還したおり、島津の戦功を祝福して、色々な踊りが各地で催されました。その中の一つに棒踊りがあつて踊られていたようです。新地馬場の棒踊りは中断されていたので、町の青年等が昭和初期に復活を図る活動に取り組み、その後、平成10年7月、野尻町指定無形文化財となりました。現在では、学校区内との連携を図りながら、文化財の傳承活動や、ふるさと意識の高揚のために活動しています。



吾輩は冒険者である

Vol.18

「はん出来たよ。」と優しい声が聞こえてきます。「はい」と、適当に私は返します。「ごはん出来たよ！」と少し力強く、普通の声が聞こえてきます。「はい。もう行くよ。」と、違う世界に集中している私は返事します。「んもう、いつまで待たせるの?!」と怒った声が出たら、すぐに行つた方がいいと、経験から分かりました。返事もせず、Bダッシュで美味しいおいがする方へと向かいます。世界を救うのは後回しにします。

私が7歳の頃、ドイツではファミコンが発売され、クリスマスにサンタさんが私のところへ持ってきてしまいました。あれから、ゲームボーイ、スーパーファミコン、プレイステーション1&2とゲームボーイDSも追加しました。最初は、英語版のゲームしかありませんでした。ドイツでは、英語科目は5年生から始まるので、その時はまだ英語を理解できませんでした。でもやっぱり、ゲームの内容が気になって、「早く身につけたい」という思いが強かったです。きつとそのおかげで、上達があんなに早かったのでしょうか。

「ゲームはいつまでも、飽きない!!早く大人になって、好きなゲームを全部買いたい!」と思っていた私が、大きくなってゲームをしなくなりました。でも実は、この文章のためにゲームのことを調べたら、再び火がついてしまいました。違う世界に入り込んで、冒険者になるのが楽しいです。

ところで、最近、現実の世界でもちよつとした冒険者になっていました。やっぱり、ゲーム世界の冒険は本当の冒険にはかきません。

ほらっ、ベトナム楽しい!



ほらっ、ベトナム楽しい!